

摂津市議会

民生常任委員会記録

令和4年6月13日

摂津市議会

目 次

民生常任委員会

6月13日

| | |
|---|----|
| 会議日時、場所、出席委員、説明のため出席した者、出席した議会事務局職員、 審査案件----- | 1 |
| 開会の宣告----- | 2 |
| 市長挨拶 | |
| 委員会記録署名委員の指名----- | 2 |
| 議案第30号所管分の審査----- | 2 |
| 質疑（光好博幸委員、増永和起委員、森西正委員、水谷毅委員、南野直司委員） | |
| 議案第35号の審査----- | 22 |
| 採決----- | 22 |
| 所管事項に関する調査について----- | 22 |
| 閉会の宣告----- | 24 |

民生常任委員会記録

1. 会議日時

令和4年6月13日(月) 午前10時1分 開会
午後 0時 閉会

1. 場所

301会議室

1. 出席委員

委員長 香川良平 副委員長 水谷 毅 委員 南野直司
委員 森西 正 委員 増永和起 委員 光好博幸

1. 欠席委員

なし

1. 説明のために出席した者

市長 森山一正 副市長 奥村良夫
生活環境部長 吉田量治 保健福祉部長 松方和彦
同部理事 荒井陽子 同部参事兼生活支援課長 木下伸記
同部参事兼国保年金課長 谷内田 修
保健福祉課長 浅尾耕一郎 高齢介護課長 真鍋伸也
産業振興課長 鈴木 誠

1. 出席した議会事務局職員

事務局長 橋本英樹 同局主幹兼総括主査 香山叔彦

1. 審査案件

議案第30号 令和4年度摂津市一般会計補正予算(第3号)所管分
議案第35号 摂津市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定の件

(午前10時1分 開会)

○香川良平委員長 ただいまから、民生常任委員会を開会します。

理事者から挨拶を受けます。

森山市長。

○森山市長 改めまして、おはようございます。

いよいよ梅雨入りが間近になってまいりましたが、各委員の皆様にはお忙しいところ民生常任委員会をお持ちいただきまして大変ありがとうございます。

本日は、さきの本会議で当委員会に付託されました案件についてご審査を賜りますが、何とぞ慎重審査の上、ご可決いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○香川良平委員長 挨拶が終わりました。

本日の委員会記録署名委員は、増永委員を指名します。

審査の順序につきましては、お手元に配付しています案のとおり行うことに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○香川良平委員長 異議なしと認め、そのように決定します。

暫時休憩します。

(午前10時2分 休憩)

(午前10時3分 再開)

○香川良平委員長 再開します。

議案第30号所管分の審査を行います。

本件については補足説明を省略し、質疑に入ります。

光好委員。

○光好博幸委員 おはようございます。

それでは、私から数点確認も含めて質問させていただきます。

まず、10ページ、11ページの社会福祉総務費で、右側の負担金、補助及び交付金です。1点目が、新型コロナウイルス感

染症対策介護サービス事業所等補助金がございます。介護サービスの事業所の状況と、この補助金の内容について、1回目お聞かせください。

二つ目がその下の新型コロナウイルス感染症対策日曜日接種補助金で、2,600万円計上されておりますが、日曜日の接種補助金の内容について、1回目ご答弁をお願いします。

次のページに行きます。

12、13ページで、下の商工振興費です。3番目に、負担金、補助及び交付金で、スクラッチカードの交付金が251万1,000円計上されてますので、確認の意味で交付金の内容と、今年度いつぐらいからスクラッチカードの事業を開始されるのかお聞かせいただきたいと思えます。

続きまして、4番目、その下です。新型コロナウイルス感染症対策グルメクーポン交付金で2,656万3,000円で、その上の委託料にも関わることかもしれませんけども、まずグルメクーポン券の内容についてお聞かせください。

最後です。5番目、その下です。新型コロナウイルス感染症対策商品券の交付金で、8億6,000万円です。結構高額の計上をされておりますけれども、商品券の交付金の内容について、1回目ご答弁ください。

以上です。

○香川良平委員長 それでは、答弁を求めます。

真鍋課長。

○真鍋高齡介護課長 一つ目でございます。社会福祉総務費、負担金、補助及び交付金、介護サービスの事業費の補助金で、施設の事業所の状況やこの補助金の内容でございます。

長引くコロナ禍で、重症化しやすいような高齢者と接する機会の多い介護施設におきましては、とりわけ感染防止対策を行う必要があると考えておりました、この5月に入ってからも、施設においては陽性者も出ていると把握をしております。

そのような中、事業所の方に伺いますと、やはり経営が厳しいところもあるのではないかとお聞きしております。例えば、デイサービスの利用者数が回復していない事業所もあると聞いておりました、他市の事例ではございますが、閉鎖せざるを得ない事業所もあるようでございます。

そのような中、本市といたしましては今回の介護サービス事業所補助金を支給することによりまして、施設の継続的な介護保険サービスの提供を支援し、その支援を通じて高齢者の生活を支えることを目的に、事業所に対しまして3種類のメニューを用意し、補助金を交付する予定でございます。

具体的なメニューでございますが、消毒液などの衛生用品の物品購入や各施設で必要となりますタブレットの購入費用、オンライン環境整備費用、ICTへの補助や介護保険法で作成が義務づけられておりますBCP計画、災害や感染症によります業務継続計画の作成費用、これらの3種類のメニューを用意しまして、金額は規模によって異なりますので、サービス種別ごとに設定をさせていただいております。

金額ですが、訪問介護など訪問系の事業所が5万円、デイサービスなど通所系の事業所が15万円、グループホームなどの地域密着型の施設には30万円、それ以外の特別養護老人ホームなどの大規模な施設には50万円を補助する予定としておりました、全体で1,500万円を予定して

おります。

以上でございます。

○香川良平委員長 浅尾課長。

○浅尾保健福祉課長 それでは、2番目のご質問に答弁をさせていただきます。

本市におけます新型コロナウイルスワクチンの接種につきましては、医療機関の多大なご協力を頂いております、1週間当たり最大2,500回を超える接種が可能となっております。これによりまして、接種を希望される方につきましてはスムーズに予約を取っていただける状況となっております。

しかしながら、通常医療機関が休診となります日曜日の接種ができる医療機関は、現状としては少ない状況にございますので、今回4回目の接種に当たりまして医療機関に補助金を交付することで身近な医療機関での日曜日接種の実施を支援するものでございます。

内容といたしましては、市内に開設をされている医療機関のうち日曜日に新型コロナウイルスワクチンの接種枠を50回以上確保し、接種を実施した場合に1日につき10万円の補助を行う、そのような制度を設けたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○香川良平委員長 鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、産業振興課に関わります3点のご質問にお答えさせていただきます。

まず、スクラッチカード交付金でございます。スクラッチカード交付金の内容につきましては、300円券を当選確率20%で当初予算計上させていただいております。今回の補正予算におきましては、この300円券の当選につきまして、30%に

当選確率をアップさせるものでございます。

それと併せまして、特別賞でございます。1,000円券でございますが、こちらにつきましては2倍に倍増させていただきたいと考えております。

今年度の実施時期につきましては、例年どおり11月1日から12月10日を予定しております。

続きまして、4点目の新型コロナウイルス感染症対策グルメクーポン交付金でございます。こちらにつきましては、大阪府感染防止認証ゴールドステッカー認証店舗のうち、本事業に参加登録いただいた店舗情報をまとめた冊子を作成いたしまして、全戸に配布させていただくものでございます。この冊子には、500円の割引クーポンを5枚添付するものでございます。

実施時期につきましては、令和4年9月から10月を考えております。

続きまして、5点目の商品券交付金の内容でございます。この商品券につきましては、500円券を10枚5,000円分を1冊にいたしまして、こちらを1冊2,000円で販売するものでございます。5,000円のうち1,000円につきましては小規模店舗専用券といたします。

購入対象者につきましては、市内全世帯の方に購入をいただけるようにしまして、1世帯につき4冊まで購入いただけるように考えております。合計で2万円分を8,000円で購入いただけるということでございます。

利用期間につきましては、令和4年10月1日から令和5年1月末までの4か月間と考えております。

以上でございます。

○香川良平委員長 光好委員。

○光好博幸委員 ありがとうございます。

それでは、まず1点目の感染症対策介護サービス事業所等補助金です。おおむね理解いたしました。他市の事例がありましたけど、摂津市は閉鎖しているところはないでいいんですかね。

非常に厳しい運営状況と思いますし、介護サービス事業所でクラスターとか発生している話もお聞きしたりしますので、できるだけしっかりと周知いただいて必要な事業所に、必要な補助金が支給できるようにしっかりと努めていただければと思います。この質問はこれで終わりです。要望とします。

2番目、日曜日の接種補助金です。おおむね理解いたしました。4回目のワクチン接種が始まると思うんですけど、確認の意味で集団接種、多分ないと思うんですけど、そのあたりの考え方と、日曜日接種でどれぐらいの医療機関を見込んでいるのか、2回目確認の上でお願いします。

続きまして、3番目、スクラッチカードの交付金です。理解いたしました。当選確率を上げ、11月からとのことでございました。この事業はずっと応援している事業ですので、本当に市内を盛り上げていただきたい、そうした仕組みが定着していると思いますけども、ぜひ今回も幅広くお声かけいただいて、本市を盛り上げてほしいと思います。これも要望とします。

続きまして、4番目のグルメクーポン交付金でございます。おおむね理解いたしました。これも9月からとのことでございませうけれども、少し確認の意味で市内でどれだけの対象店舗を見込んでいるのか、2回目お聞かせください。

5番目、商品券の交付金でございます。おおむね理解いたしました。2万円の商品

券が8,000円で、非常にお得というかすごいスキームだと思います。これも対象店舗をどれぐらいと考えているのか、この8億6,000万円、委託料で1億円、合計9億6,000万円となっています。この辺の財源の考え方、これを見てても余りよく分からんところがあるので、府、国と、例えば市の一般財源が出てる割合も一緒にお聞かせいただければと思います。

2回目、以上です。

○香川良平委員長 浅尾課長。

○浅尾保健福祉課長 それでは、2回目のご質問で、2番目の質問に答弁をさせていただきます。

まず、集団接種の関係でございますけれども、市民の3回目接種全体のうち集団接種での接種が6.5%にとどまっております。現状において希望する方が少ない状況である、接種の予約が埋まらない状況が続いていることもありまして、4回目では集団接種を実施しないことといたしております。

今回の補助金の交付によりまして、日曜日の接種を行う医療機関を新たに確保することで、月曜日から日曜日を通して身近な医療機関で接種できる態勢を構築したい、そのように考えているところでございます。

見込みのお問いでございましたけれども、市内で10医療機関程度の想定で予算組みをさせていただいております。補助の対象日、おおよそ4回目が本格化する5か月間の対象の日曜日で、それに補助額の10万円、これで合計2,600万円を予算計上させていただいております。

以上でございます。

○香川良平委員長 鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、質問2点にお答えさせていただきます。

まず、4番目のご質問でグルメクーポン事業につきましての対象店舗でございます。前回、令和3年度に摂津ゴールドステッカーNaviの事業をさせていただきました。そのときの参加店舗が80店ございました。今回につきましては、より広く店舗を募集させていただいて、約100店舗を目標に取り組んでいきたいと考えております。

続きまして、5点目の商品券事業につきましての同じく対象店舗と、あとこの事業に係ります財源でございます。こちらの店舗数につきましては、これは前回、令和2年度に摂津市子育て応援商品券を実施しております。そのときの対象店舗が199店ございました。今回につきましては、全世帯に購入いただける予定の券としておりますので、より広く店舗を確保したいと思っております。今回につきましては、220店舗を目標に取り組んでいきたいと考えております。

続きまして、本事業に係ります財源でございます。本事業の財源といたしましては、商品券の販売代金の収入が3億4,400万円と考えております。こちらは、4万3,000世帯に4冊掛ける2,000円で、3億4,400万円を計上しております。

それから、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を財源に考えております。こちらが、本事業につきましては2億5,201万6,000円の交付金を充てる予定をしております。それを差し引きました実質市の一般財源の負担金につきましては、3億6,398万4,000円でございます。

以上でございます。

○香川良平委員長 光好委員。

○光好博幸委員 ご答弁、ありがとうございます。

それでは、3回目で、まず2番目の日曜日の接種補助金につきましては理解いたしました。集団接種はしないということでございました。あと、10医療機関ですかね、ありがとうございます。働いている方とか、高齢者の方でも、平日打ちにくい方もおられると思いますので、しっかりと医療機関の方にご協力いただきまして、働きかけもお願いしたいと思います。

また、市民への周知についても、4回目は結構、皆さん敬遠されるというか、高齢者の方、対象になってます。4回目のワクチン接種についても、しっかりと打っていただくように周知もお願いしたいと思います。

これも以上で終わります。

続きまして、4番目のグルメクーポン券です。理解しました。今回は、ちょっとふやして100店舗ぐらい見込んでということで、よろしく願いいたします。これも、できるだけ多くの店舗に協力してほしいと思いますし、また、市民の方にも、こういうことをやっているとしっかり周知いただければと思います。

この質問を終わります。

続きまして、5番目の商品券の交付金の内容でございます。財源についても分かりました。ここに書かれてる数字がベースになってるんですね。ありがとうございます。

対象店舗につきましても、220店舗で理解いたしました。非常に魅力のある商品券だと思うんですけども、10月からやるんですが、広報してからいつ買えるんやろと思われる方も多いと思うんです。現時点で、どこでいつから買えるかというスキ

ームになってるかを最後、お聞かせいただきたいと思います。

以上です。

○香川良平委員長 鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、5番目の商品券事業につきまして、現時点でいつからどこで購入いただけるかでございます。本事業につきましては、大変多くの世帯がご購入いただけると思っております。今回一斉販売いたしますと、販売開始日と利用開始日に集中すると予測されることから、販売方法に工夫が必要と考えております。

購入時期につきましては、10月1日から商品券が使えることを考えますと、その前、9月下旬には販売を開始したいと考えております。

購入場所につきましては、現時点では、予算上で、積算上では郵便局でありますとか、商業施設等での窓口販売を想定いたしまして予算計上しておりますけれども、やはり販売方法に工夫が必要で、今回民間事業者からの提案をいただきたいと考えております。公募型プロポーザル方式によって委託先を選定いたしまして、よりスムーズな事業運営に努めていきたいと考えております。

以上でございます。

○香川良平委員長 はい、光好委員。

○光好博幸委員 ありがとうございます。もう最後にしときたいと思いますけれども、9月下旬からでこれから工夫されると思います。

私の記憶ですけど、一昨年、プレミアム付商品券、Go To Eat大阪、1万円で1万2,500円の食事券が買えるとのことで、確かファミニリーマートなんかで買えたと思います。当時も非常に購入希望の方が多くて品切れといひますか、どこ

のファミリーマートに行ってもない。あるいは一時的に人が集中することがあったかと思います。今回の商品券は、それよりも非常に魅力的なのでごく混乱する可能性があると思うんで、ぜひぜひこれからしっかりと組み立てていただきたいと思いますし、もしくは何か予約とかインターネットで、密にならないとか、そこでトラブルが起らないように工夫していただければと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

私からは以上です。

○香川良平委員長 ほかにございますか。

はい、増永委員。

○増永和起委員 おはようございます。それでは、質問させていただきます。

まず、10ページ、11ページです。光好委員からも質問がされておりましたけれども、新型コロナウイルス感染症対策介護サービス事業所等補助金、これに関しては、内容、それから今の事業所の状況もお聞かせいただきましたので、私からは要望だけにしておきたいと思います。

この間、介護事業所の皆さんは非常に神経を使って、感染が広がらないために自分の私生活も抑えていろいろとやっておられたと思います。利用者も、先ほど、ご紹介もあったように利用そのものを控えてしまうこともあって、反対に介護の度合いが進んでいくとか、そういうことも非常に懸念がされる状況が続いてきたと思うんです。

私たち日本共産党が、何回も何回も要望をしておりました介護施設での定期的検査は行われていましたが、ヘルパーとかケアマネとかそういう方々の定期的なPCR検査が今まではなかったんです。それもやっとなされたので、今、感染者数はそ

んなに大きくふえている状況ではないですけれども、陽性者の方も出ておられると、高齢者の中ではなっていると思います。やはりリスクが高いわけですから、その点ではしっかりと事業所の支援もしながら、高齢者の皆さんやそこに働く皆さんの市としてのサポートをぜひ行っていただきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

2番目です。新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金が今回補正で上がっているんですが、この中身について教えていただきたいと思います。

3番目です。先ほど光好委員の質問でもありましたけれども、日曜日の接種を医院に委託をすると。集団接種は今回はもうやらないよとのお話でございましたが、このワクチン接種の予防費ですね、その中にコールセンター等業務委託料が上がっています。コールセンターは集団接種の分についていろいろと頑張っていたと思うんですけれども、今、ワクチンの接種希望者もそんなにどっとやってくるわけでもない。反対に接種を促す状況が今出てきているとは思うんです。

コールセンターのお仕事の中身ですね、これについて教えていただきたい。今まで医療機関でも、コールセンターを通して予約を受け付けてるところがあったと思うんですが、引き続きあるとは思うんですけど、ほかにも具体的に教えていただけたらと思います。

続きまして、12、13ページです。これも光好委員からいろいろと質問がされてましたが、グルメクーポンです。これについて昨年度はチラシという形でやっていただいたと思うんですけれども、その利用率、どれぐらいあったのか、今回その利用

についてどのようにお考えなのかを教えてくださいたいと思います。

それから、商品券発行委託料ですけれども、先ほどの光好委員の質問の中で、この商品券の発行については郵便局等で、販売とかも一応考えているけれども、もっといろんなやり方についてとか、そういうことも含めて事業者を募集するんだと、プロポーザルでこれを選んで委託していくと伺いました。この委託事業者は、今伺ったのは販売の仕方でしたけども、それ以外にもあるのかどうなのか、それから、プロポーザルをするにもこういうことを視点として点数をつけていくということがあると思うんですね。事業者を選ぶ視点と、どういふことでそれを選んでいこうとしておられるのか、1億円って大きなお金ですので、この事業者の選び方はやはり透明性がないといけないと思いますので、そういうことをどうやって確保されようとしているのか、また、事業者選定のスケジュールについて教えてくださいたいと思います。

この下にあります商品券の交付金です。8億6,000万円の商品券に対して1億円で事業者をつけるのは、これどうなのかと思うんです。この商品券の意義ですね、特に全世帯に向けてということで、今までやったら子育て支援だったけれども、今回全世帯対象に商品券を皆さんに販売しますので、買ってくださいというお話やと思うんです。こういうことの意義をどのようにお考えで、今回この事業を行おうとしておられるのかお伺いしたいと思います。

それと、全世帯というお話でしたけれども、今までいろいろ全世帯に対しては本当に非常に難しいと思うんですけれども、これを達成するためにどのように考えておられるのかお聞かせ願えたらと思います。

以上です。

○香川良平委員長 では、答弁を求めます。木下部参事。

○木下保健福祉部参事 増永委員の2番目のご質問の生活困窮者自立支援金についてお答えいたします。

この事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯に対しまして、社会福祉協議会の実施している貸付制度などの支援が用意されておりますけれども、貸付が終了してもなお困難な世帯に対して自立支援金を給付するもので、就労により自立を図る、それが困難な場合には円滑に生活保護への受給につなげることを目的としたもので、令和3年7月から国が創設したものでございます。

申請期限が令和4年6月末と今年度当初はなっておりましたけれども、これが令和4年8月末までに延長されたことから、当初予算よりも事業費や事務費などが増加することを考えまして、補正をお願いするものとなっております。

以上でございます。

○香川良平委員長 浅尾課長。

○浅尾保健福祉課長 それでは、3番目のご質問に答弁をさせていただきます。

コールセンター業務のお問いでございましたけれども、ご質問にもございましたとおり、集団接種を今回行わないこととなるんですが、市内の医療機関の多くはコールセンターで予約を受け付けしている状況でございます。

このほか、接種証明であったり、接種券の再交付であったり、各種の受付なども担当しておりまして、その時々で体制については柔軟に検討を行いながら対応しておりますけれども、今後もこのコールセンタ

一業務は一定残るので、今回補正の予算を計上させていただいているものでございます。

以上でございます。

○香川良平委員長 鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、まず質問4点目、グルメクーポン事業に係ります昨年度のゴールドステッカーN a v i 事業の実績と今回の利用率の目標についてお答えさせていただきます。

まず、昨年度のゴールドステッカーN a v i につきまして、配布ベースで、クーポン券を配布した金額に対しまして換金いただいた金額が約12%となっております。

今回につきましては、より多くの方にご利用いただくと見込みまして、25%を目標に取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、質問5点目の商品券発行委託料の中身についてでございます。こちらにつきましては、まず内容といたしましては、スムーズな事業運営のためにチラシやホームページの作成、商品券の販売、商品券の警備でありますとか、コールセンター等の事務局の事業、それから、商品券の換金、これら業務全般について委託をしたいと考えております。

このプロポーザルに当たりましての視点でございますが、やはり多くの世帯に購入いただけるということで、相当工夫の余地がございます。ですので、審査に当たりましては、まず審査基準を公表いたしまして透明性確保に努めたいと考えており、その事業の中身を重視した選定をしたいと考えております。

そのスケジュールでございますが、今回の予算、ご可決いただいた後、すぐに事業

者の募集案内でありますとか、プロポーザルの手続に入っていきたいと考えております。それから、募集案内、質問の受付・回答等のスケジュールを考えますと、7月の下旬ぐらいにプロポーザルのプレゼンテーションを行っていただけると考えておりました、7月中に契約ができればと考えております。

それから、6点目の商品券交付金の商品券の意義でございます。今回、全世帯を対象にご購入いただけるということでございますが、目的といたしましては地域経済活性化、それから、物価高騰対策の支援でございます。

こちら、達成するための工夫でございますが、全世帯に販売の引換券を送らせていただいて、その引換券をもってご購入いただきたいと考えております。専用の事務局、コールセンターも設置していただいて、購入についてのフォローもしていきたいと考えております。

以上でございます。

○香川良平委員長 はい、増永委員。

○増永和起委員 それでは、2回目の質問をさせていただきます。

まず、困窮者の自立支援です。8月までに延長されたので補正をとということでございました。今、本当にね、コロナの感染者数はどーんと上がることはなっていないんですけども、生活に困る方々は非常にふえてきている、それも切実な相談がすごくふえてきていると感じています。

先日も、私、電話でご相談を受けたんですけども、連休のさなか手持ち金が千五、六百円しかない状態で仕事をしてその仕事の金額が大きくなって、本当に生活に行き詰まってどうしようもないとご相談が入ってきました。その方だけではな

くて、まだ何人かも同じような、ほんまにぎりぎりのところに追い詰められてという相談があったわけです。

なので、8月までの延長は、8月までで足りるんかという問題もあると思うんですけども、しっかりと支えていただきたいですし、窓口に来られた方に対して寄り添った対応をぜひしていただきたいと思っています。

今までやったら、中小業者に向けての支援金が持続化給付金であったり、事業復活支援金とかもあったんですが、全部6月で終わりになりましたので、その後のメニューが何もない中では、こういう自立支援金に来られる中小業者の方もいらっしゃると思います。ぜひ、対応をしっかりといただきたいと思うので、よろしく願います。これは要望としておきます。

次に、ワクチンのコールセンターの件です。お話の内容は分かりました。医療機関は大変ですけども、頑張っていたらるので支えていただきたいと思っています。そのためには、コールセンターのお仕事も、やはり日曜日がありますよとかいろいろご案内を、電話してきはった方に対して、しっかりした説明をしていただいて、その方の需要、ニーズに合うようなところがどこにあるのかを一緒に相談に乗ってあげていただきたいと思うんです。恐らくどこで受けたいということではなくて、ワクチンそのものへのご相談とかもきっとコールセンターにかかってくるのではないかと思いますので、その辺もしっかりしていただきたいと思っています。これも要望としておきます。願います。

続いて、グルメクーポンです。昨年度は12%が換金をした分だとお答えいただきました。やっぱり非常に利用率が少ない

と思うんです。今回25%が目標です。ただ、それを利用するだけじゃなくてどんな店舗があるかを見ていただく、そういう意味も冊子にはあるんだと思うんですけども、やはりせっかく作るんですから、もうちょっと利用していただける内容にぜひ考えていってもらいたいと思います。やはり、いろいろとやっても結局利用が少なかった、予算をこಂಡけ取ったけど結局こಂಡけしか使わなかったみたいなことが多いと思いますので、そうならないように、やっぱり市民のニーズを把握してもらいたいと思っています。

商品券ですけども、この商品券については1億円かけて業者に委託するけれども、どんな基準でこの業者を選ぼうと思っているのかは、今の時点ではまだそんなにはっきりとはしていない状況なのかなって、今のお話聞いてて思います。でも、スケジュール的にはこの議会が終わったら、すぐに募集をかけないと間に合わないということでは、何かすごく丸投げ的な気がするんです。

といいますのは、先ほどの商品券のお話にも入りますけれども、全世帯にこれを企画したということは、おっしゃったように地域経済への対策もあるでしょうけれども、物価高騰支援を市がやろうとしているんだと。私、これはいいことだと思うんです、とつてもね、全世帯に向けてこの物価高に対しての支援は、本当に、いい政策と思うんです。

ただ、それをね、販売にして、ともかく前金が要るんだと、お金を持ってどこかに買いに行かないとそれが手に入らないのは、本当に全世帯へ行き渡るのかが非常に心配なんです。

先ほど、困窮者自立支援でもお話した

ように、今もう本当に困窮している方々は、2,000円のお金も手持ち金としてないわけですよ。お金を持って行ったら、それ以上のものが手に入るって分かってても、そこへ行けない人たちが事実いらっしゃる。そこへどんな手立てをするのか、一番しないといけないところに対してどう考えておられるのか。

また、高齢者のひとり暮らし、こういう方々にお届けするためには一体どうしたらいいのか。私、国の定額給付金、摂津市はプロジェクトチームをつくって全て配り切るということで非常に頑張っていたのだと思っています。ケースワーカーとかヘルパーとかそういう力も借りながら、民生委員の力も借りながらいろんな形で、いろんな人の力を借りながら配り切らんだと頑張っていたのだ、そういうことがあります。

それを、今度販売となると、ほんとに届けたいところに届かないのではないかと、せっかく全世帯というすばらしいことを掲げていただいたのに、本当にそうなるのかがすごく疑問なんです。それを何か考えてもらいたいのがこの1億円の事業所の委託料かもしれないです。

その事業所は、そういうことについてはそんなに上手に販売することはね、事業所なんですからやられるでしょうが、やっぱり市の仕事と違う内容やと思っています。大阪市は、定額給付金を委託で全部やっていたんですけど、全然うまくいかず、すごく率が低かった。そういうこともあったと思います。

その辺について、やはり全世帯にどんなふうにこの物価高騰支援を届けるのかをもう一度お聞かせいただきたい。こんなやり方をしなくても、販売じゃなくてこの商

品券をお届けすればよかったんじゃないのか、別に事業所選択なんかせんでもいいし、8,000円を支払って2万円の商品券を購入する、そういうことをせずに渡す分だけ商品券にしてお渡ししたほうがずっとずっと徹底するし、そのお渡しできる金額もその分ふえるんじゃないのかと思うんですけど、その点についてもお聞かせいただきたいと思います。

以上です。

○香川良平委員長 答弁を求めます。

鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、商品券事業につきましてのご質問にお答えさせていただきます。

まず、販売について、2,000円で販売することと、高齢者のひとり暮らし等でなかなか購入が難しい方に対しての支援でございます。こちらにつきましては、そのような事情がある方に対しても販売できるように、募集に当たっては事業者からこの支援の方法につきまして考え方を伺いしたいと考えております。

また、コールセンターを設置しまして、フォローをしていただく予定ですが、そういった事情についても考えていただくように要請したいと考えております。

販売せずに送ってしまえばどうかということでございますけれども、今回やはり地域経済の活性化というところにも目的がございますので、やはり多くのお金について、経済を回していただくのに摂津市内で使っていただきたいと考えまして、ご負担いただくことにはなるんですけれども、販売させていただいて、その分摂津市で商品券として使っていただくことを考えましたので、販売という形をとらせていただいております。

以上でございます。

○香川良平委員長 増永委員。

○増永和起委員 高齢者のひとり暮らしをどうするかとか、すごく所得が低くなって、先払いのお金がない方についてどう手渡すのかは、それは事業者を考えてもらうのは、私は非常に投げやりというか、そんな丸投げでうまいこと考えてくれるところがあるのかなと思います。

地域経済の活性化だからお金の振り込みではなくて、商品券とすることは分かるんです。けども、買ってもらうんじゃなくて、商品券をお送りしたらいいんじゃないのと思うわけです。わざわざ買ってもらうのは、非常にハードルが高くなる。商品券をお送りして、使う使わへんはその方の自由ですけども、それを市内の事業所で使ってもらうようにすればいい話じゃないのか。何でわざわざハードルを挙げて、なかなか手に入れにくい形をつくられるのか非常に疑問を持っているところでございます。ぜひね、いろいろとご検討いただきたいと思います。

事業者を選ぶときの基準にしても、やはり市がこういう基準で事業者募集するんだというのが、そもそもなければ、いろいろやってきはるかもしれへんけれども、じゃあどこを選ぶのっていうときに、既に市の基準がないのに選びようがないと思うんです。それもしっかりと議論をして、ちゃんと基準をつくってその基準の中には全世帯に物価高対策をうっていただいているんだから、全世帯に届けることをぜひ全力で考えていただきたいと思います。

もう要望にしておきますけれども、いっぱい余って、同じ人が4冊を超えてまた買えるとか、そんなやり方はやらないでほしいと思っています。やはり、みんな同じく

市民ですから、公平に皆さんに、自分で買わない人は別ですよ、でも、そういうことも知らなかったとか、買いたいのにならぬとか、そういう方がないようにぜひしてもらいたいと思います。

ちょっと一つ、これは提案ですけども、市内の事業所で商品券を使っていたことができると思うんです。お風呂屋が、今、摂津市内で1軒しかありません。特に、安威川以南だと、岸辺のスーパー銭湯に入りに行かざるんですね、近くになくてね。だから、そういうことについても使えるように考えていただけるといいのではないかと、これは一つの提案でございますので、またご検討いただきたいと思います。

ぜひ、本当に市民の皆さんに行き渡って、皆さんから喜んでいただける事業になるように要望しておきます。

以上です。

○香川良平委員長 ほかにございますか。

森西委員。

○森西正委員 おはようございます。

それでは、まず11ページです。コロナウイルスの対策についてですけども、日曜日接種の補助金が出されてます。4回目に向けてであり、今、全国で問題になってますワクチンの廃棄問題が本市で現実的にあるのかどうかを教えていただきたいと思います。期限切れで廃棄ですけども、そういうことが事実としてあるのかどうかを教えていただきたいと思います。

これからで言いますと、3回目をまだ打たれてない人と、3回目を打たれてこれから4回目を打つ方と両方が重なってくると思うんです。接種に向けてその点の混乱等、コールセンターもそうですし、例えば、医療機関の混乱は現実的に生じないのか、そのこのところはうまくいくものなのか、そ

の点を教えていただきたいと思います。

集団接種は、バスの巡回がありましたけれども、日曜日接種で集団接種がないようになってくると、そういう部分も完全になく、進められるのか、教えていただきたいと思います。

それと、次のページに行きますけれども、先ほどから他の委員からもありましたけれども、商工に関してです。グルメクーポンと商品券、スクラッチカードと進められますけれども、グルメクーポンは先ほどパーセント、換金率と教えていただいて、私もその点はもう少し向上していただくように努力をお願いしたいと思います。

スクラッチカードです。今までスクラッチカードを実施されて、その中で店舗によって差があって、1日目でもう全部なくなったりとか、長い間残っていたり店舗によって差があるんです。その点の基本的な考え方、すぐになくなる場所は、例えばお客さんがたくさん来るから、それだけの顧客があるから追加分は必要ないと思われるかもしれませんが、一方で、長い間店舗に残っているところは、お客さんを呼ぶためのものなのか、別に早くなくなろうが店に長くあろうが、という考えなのか、その辺基本的な考え方はどう考えておられるのか、教えていただきたいと思います。

商品券です。何よりも国で、今、給付金の不正受給があり、やっぱりそこところは公平に、そしてまた不正のないように、商品券だけでなくほかの部分も進めていかなければならないと思います。今、増永委員からも質問がありましたけれども、全ての市民の方に商品券が行き渡って、全ての方が利用できる、公平に利用できるようにしていかなければならないと思っております。そこところは、販売ではなく、増

永委員がおっしゃってましたけれども、全ての方であれば、私からも、そういう検討、要望をお願いしたいと思います。購入されない方がおられないように、その辺、検討していただきたいと思います。

物価高騰について、今まで飲食店の方が、1年間で例えば飲食店の方であれば1,000万円ほど給付金を受けられてる方がたくさんおられました。その方は、その飲食店ではなくて、飲食店に絡む事業をされてる方の売上げが下がったけれども、そこは国の給付金は対象になるけれども、例えば大阪府の事業は対象にならない事業所がたくさんあって、飲食店に目が当てられてたところがあります。そういうところを本市としてやはり目を当てていく、なかなか市でもって多額の給付金とはなかなか難しいかも分かりませんが、そこは国の補助金があって、その分を給付できるのであれば、そういうこともやっぱり考えていくべきだと思うんです。まあコロナが少し以前に比べると、今は、落ち着いてますけれども、本来であればもう少し前に、苦しいときにそういうことをしてあげられるべきだったと思うんです。

その点で、商品券に対しては、そういう事業所を対象とする考えはないのか、もしくは、そういう事業所が、例えば商品券とかそういう部分に対して手を挙げられるのか。自分のところの事業は根本的にそういうところではないんだと思われる事業所もあると思うんです。そういう事業所に対してのPRとかで進めていくところはないのか、お考えを教えていただきたいと思います。

○香川良平委員長 それでは、答弁を求めます。

浅尾課長。

○浅尾保健福祉課長 それでは、1番目から3番目のご質問に答弁をさせていただきます。

まず、1番目のワクチンの廃棄の関係のご質問でございますけれども、本市におきましては、5月末に使用期限を迎えたモデルナワクチンのおよそ4,900回分、これを廃棄いたしております。

廃棄に至った経緯といえますのが、これは国から自治体ごとに基本量が積算をされまして、配分がなされるわけでございますけれども、本市もワクチンの不足がないように、その後のワクチン供給が不安定化するリスクも想定して、ある程度の余裕を持ったワクチンの確保にこれまで努めてまいりました。しかしながら、3回目の接種の接種率が低調であったこと、それから、モデルナワクチンを希望する市民の方が一定少ない状況にあった、これら期限が短いワクチンであったことなどが要因となりまして、ワクチンの余剰が生じていると、そういう状況にございました。この廃棄の分につきましては、国等への報告を行っているところでございます。

それから、2番目のご質問につきまして、3回目、4回目が並走することございまして、こちらにつきましては、4回目の接種券に3回目の接種の記録と、これを印字したものをお送りすることにいたしております。一定、この接種券を見ていただく段階で3回目か、4回目かは把握できる状況になっておりますけれども、医療機関で混乱が生じないように今後も医師会等への説明は丁寧に行っていきたいと考えております。

それから、3番目のご質問でございますけれども、集団接種に係るバスの運行等のご質問でございました。4回目の接種に当

たりましては、集団接種は実施をいたしませんのでバスの運行も実施をいたしません。バスの運行、それから、集団接種のときに必要となります会場従事者の委託等の経費につきまして、これらは今回の補正に計上していないということで、ご理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○香川良平委員長 鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、スクラッチカード事業に係ります、カード配布の基本的な考え方についてお答えさせていただきます。

まず、本スクラッチカードにつきましては、500円購入ごとに1枚配布させていただくことになっておりますので、その購入単価等によって、店舗で配布される枚数のばらつき等は、出てくると考えております。

ただ、スクラッチカード利用店舗につきましては、きっかけとしまして、楽しみとしてスクラッチカード事業を実施しているところで、楽しみとしてご利用いただける方もいらっしゃるのではないかと考えます。その辺りは、購入のきっかけづくりとしては、一定効果はあるのではないかと考えております。

それから、商品券事業につきまして、飲食店と関係の事業所等が恩恵を受けられないのではないかとこの点等ですけれども、飲食店、今回、グルメクーポン事業も実施いたします。飲食店の活性化、販売が伸びることによって、間接的にはございますが、それらに係る事業所につきましても、若干のご支援にはなるのではないかと考えております。今回につきましては、物価高騰の観点もございましたので、商品券の事業を実施させていただくこととなり

ました。

以上でございます。

○香川良平委員長 森西委員。

○森西正委員 まず、ワクチンの接種に関しては4,900回分です。費用で幾らになるのか、教えていただきたいと思います。

4回目、これから進める中で、この辺は同じように、やっぱり廃棄がされないようお願いをしたいと思います。このワクチン自身、例えば期限があるわけですから、一遍にではなくて、段階的に、何ぼ何ぼお願いしますという注文だと私は思っているんです。

その点を今までどうされていて、4,900回分、期限切れで廃棄をしたとのことです。だから、当初は廃棄をしない数で頼んでいるわけです。それが結果的には廃棄をしたわけでありませけれども、その点の流れ、例えば、どの程度の間隔で、どの程度の数とかをお願いをするか、教えていただきたいと思います。

スクラッチカードです。基本的な考えは楽しみだというのは分かりますけれども、カードが店舗ごとで差が生じてくる。そこは統一化・均一化を、終わりが同じ期限にしていくのか、例えば店舗によって今まで、すぐになくなるころは、多く渡していくのか。いや、今までと同じ枚数にしていくのか。その点の考えを教えていただきたいと思います。

商品券に関しては、今答弁いただいた部分、今回に関しては、それはそうだと思います。そういう考えを持って飲食店以外の、飲食店に関連するところは本当に苦しくて、よく聞くのは、カラオケ屋、飲食店がしんどいと、カラオケ屋も分かっていて、契約のお金、もういいですわとかも聞いているんです。店をやっていないなくても、要す

るにそれだけの本来は契約があって、徴収になるんでしょうけれども、大変やから、それはもうよろしいですわというところがあると聞いています。それがカラオケ屋だけじゃなくて、いろんなところ、関連するところが、そうだとすると、自分のところもしんどいわけですから、そういう事例も聞いています。今後そこは、そういう視点でもって考えていただきますようお願いいたします。

スクラッチカードの件、よろしく申し上げます。

○香川良平委員長 答弁を求めます。

浅尾課長。

○浅尾保健福祉課長 それでは、2回目のコロナワクチンのご質問にお答えをいたします。

まず、ワクチンの費用の件でございますけれども、これは、国から供給がなされているものでございまして、市に直接的な負担が生じていないということでございまして、費用に幾らかかっているかについては、すみません、分かりかねるところでございます。

どのような供給なり、希望量をとのお問いでございましたけれども、定期的に国から供給のスケジュールが示されまして、その間に、市の在庫でありますとか、あるいは医療機関で在庫を持っていたり、今後の接種計画を持っていたりすることもございますので、各医療機関の希望量、それから市の在庫の数、これを見ながらワクチンの不足をしないように、ある程度の在庫を持つ形を取ってございます。

この中で、やはり国から供給されるものの中に、期限が短いワクチンがあるのも事実なんですけれども、できるだけ無駄が生じない形で、各医療機関への配送等を行っ

ていると。その中で今回は、3回目の接種が思ったほどの接種率まで伸びなかったことが要因となりまして、廃棄に至ったということになってございます。

以上でございます。

○香川良平委員長 鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、スクラッチカードの配布枚数についてのご質問でございます。

まず、各店舗への配布につきましては、参加いただける店舗に300枚をワンセットとして、当初にお渡しさせていただきます。

早く売り切れたところ等につきましては、ワンセット100枚を1,000円で追加販売させていただく内容となっております。

以上でございます。

○香川良平委員長 森西委員。

○森西正委員 ワクチンに関しては分かりました。4回目、これからされますけれども、不足が生じないようにというのも分かります。廃棄の量が多くなるよう幾らちょうどなのか、なかなか難しいとは思いますが、その点は、うまいこと見ながら極力ゼロに、ちょうど合うように努力をお願いしたいと思います。

スクラッチカードです。恐らく追加で販売ということでありまして、最初の300枚ずつで配られているところがまず、店舗によって早く出たりとか、お客さんの数とか、その規模とか、それによって違うと思います。小さいところであれば、ずっと長い間あって、それであれば、そこに行ったらあるのかも分かりませんが、スクラッチカードも最終的には、その店舗にずっと長い間あるところでも、はげずに処分とか、せっかく作られるんで

すから、多く市民の方が持たれて活用されるように考えていただきたいと思いますので、要望して終わりたいと思います。

○香川良平委員長 ほかにございますか。

水谷副委員長。

○水谷毅委員 それでは、質問させていただきます。

まず、1点目は、ワクチンの件です。

このワクチンは、基本的に希望制で皆さん受けてくださるわけですが、行政の立場からすれば、より多くの人に、安全に受けてもらうのが大きなテーマだと思います。

その上で、1回、2回と接種が終わり、今、3回目に入ってきているわけなんですけれども、それぞれの接種率、3回目はまだ途中だと思いますけれども、お伺いしたいと思います。

次、2点目です。

グルメクーポンについて、前回の取り組みで、よかった点と課題になった点がありましたら、教えていただきたいと思います。

次に、3点目です。

スクラッチカードの件ですが、まず、この利用率は、12%であったと思うんですけど、店舗から要望で、こうしてほしいとか、上がった内容もあると思うんですけど、それもあれば教えていただきたいと思います。

次に、4点目です。

商品券のことです。

これまで何回か同じような商品券の販売を行ってこられたと思います。一番印象的だったのは、市役所の玄関のところに、列ができて大変なことになったのが今でも印象的ですが、これまでのよかった点と、今回課題になっている点をお答えいただけたらと思います。

各委員からも質問で共通しているのは、やっぱり公平性であったりとか、販売の機会をどうやって確保していく点だと思いますので、その点を踏まえまして教えていただきたいと思います。

それで、もし今、数字、分かればですけども、過去の商品券に対する最高額、販売でもいいですし、予算額でもいいんですけども、分かれば教えていただきたいと思います。

続いて、5点目です。

困窮者の自立支援金について、今回、2か月程度、期間が延長になったと思います。

そもそもこの自立支援金は、名前のおり、生活困窮されている方と思うんですけども、基本的にどういう方が対象になっているか、要件も含めて教えていただきたいと思います。

以上です。

○香川良平委員長 答弁を求めます。

浅尾課長。

○浅尾保健福祉課長 それでは、1番目のご質問で、ワクチン接種の状況の問いでございました。

これまでご質問にございましたとおり、1回目、2回目は、比較的高い接種率になっておりまして、12歳以上で87%、それから、2回目が86%でございます。

現在、進捗の途中でございますけれども、3回目の接種が58%で、傾向といたしましては、若年世代での接種が少し伸び悩んでいる状況にはございます。

以上でございます。

○香川良平委員長 鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、ご質問3点についてお答えさせていただきます。

まず、グルメクーポン事業、前回のよかった点と課題でございます。

前回につきましては、参加いただいた店舗の数は少なかったんですけども、参加いただいた店舗からは、かなりお客さんもふえて助かったとの声も頂いております。今回は、それら参加いただける店舗をふやして、ご利用を促進してまいりたいと思っております。

続きまして、3番目のスクラッチ事業につきましては、店舗からの要望ということでございます。

スクラッチ事業につきましては、これまでカードを配布する期間と券をご利用いただける期間、これが同じ期間で行ってまいりました。

このことについては、最終日になりますと、当たっても、すぐに使わないといけない状況がございますので、これら配布期間と利用期間を少しずらしてほしいとの意見もございましたので、これらのことは、今後検討してまいりたいと思っております。

それから、商品券事業につきましては、これまでのよかった点、それから、今回の課題等でございます。

これまでにつきましては、令和2年度に子育て世帯応援商品券で、児童手当を受けていらっしゃる児童、一人について1万円の商品券を配布しております。これにつきましては、配布方式で販売ではございませんので、事務的にはスムーズであったと考えております。

今回の課題でございますが、先ほどからもご指摘ございますように、やはり多くの方に公平に、公正に販売させていただくところが一番大きな課題と考えております。

あわせて、対象店舗の拡大につきましては、本事業、相当な金額の商品券発行いたします。それら店舗、ご協力いただく

ことによって、相当恩恵を受けていただけるのではないかと考えておりますので、対象店舗の拡大にも努めてまいりたいと考えております。

それから、商品券関連の過去最大の予算ということでございますけれども、これにつきましては、今回が相当大きな、最大の金額ではないかと思っております。

以上でございます。

○香川良平委員長 木下部参事。

○木下保健福祉部参事 生活困窮者自立支援金、5点目のご質問の対象者、要件等についてお答えいたします。

先ほどお答えをさせていただいたように、この制度につきましては、社会福祉協議会の新型コロナウイルスの感染症による貸付制度を最大限利用しておられる方が、基本的に対象となってまいります。

その上で、要件でございますけれども、収入の要件、それから資産の要件がございます。

住民税非課税の限度額がございますけれども、こちらの12分の1、月割りという意味でございますけれども、こちらの収入金額以内であるということ。

それから、資産につきましても、同じく非課税限度額の12分の6、つまり半分の額までの資産であることが要件となっております。

さらに、就職を目指していただきますので、求職活動を毎月していただいて、また、市役所にもご報告いただくことが要件となっているところでございます。

以上でございます。

○香川良平委員長 水谷副委員長。

○水谷毅委員 それでは、1点目のワクチンの件です。

1回目、2回目は、87%、86%で、

当初の目標よりも、たしか上回っていたと思います。3回目については、現在58%で、市民の方といろいろ話をする中で感じることは、率直に言って、もういいかなという声もたまに聞きます。

1回目の予約をするときに一斉に「よいどん」だったので、殺到して取り合いになるぐらい最初の出足やったんです。それがちょっと今、様子は変わってきていると最近よく感じます。

私も3回打ちましたけど、長期間ではないんですけど、打った後、翌日とか、翌々日とか、やっぱり多少発熱感も感じるし、倦怠感も感じるし、多くの方がそういう率直な意見ではないかと思っております。

その上で、今後どうやって、打っていただける方を目標値に目指していくか、今までの取り組みでは、なかなか難しい部分があります。そういう面で実際に接種している病院であるとか、市民の方々の意見を聞いていただいて、新しい発想で安全に受けられる努力をしていただきたいと思います。

先ほど答弁の中で、子どもを対象にしたところが少し伸び悩んでいる話もありました。学校で先生方も、どうしたらいいかと子どもや保護者から聞かれる機会もあると思うので、教育委員会とも連携していただいて、その辺、先生方がきちっとお答えできるように保健福祉部局としても支援していただきたいと思います。

あと、これは要望なんですけれども、このワクチン、もう2年・3年目に入っております。そういう意味で、例えばワクチンを保管する冷蔵・冷凍庫であったり、停電発生時の無停電電源装置、それらも劣化をしてくしております。

これから梅雨時に入って落雷とかの停

電も考えられますので、機器の点検をしていただくと同時に、予備機を必ず持っていて、不測の事態に備えていただきまことを要望して、1点目終わります。

次に、グルメクーポンの件ですけれども、実際に私も使ってみました。使うほうも喜んでいただけるし、使ってもらえる店舗も大変喜んでいただけるという声を聞いております。

世の中のムードとして、これまでは、まだ外食はちょっとというムードやったと思うんですけど、少しずつ変わってきていると思います。

あと、全戸配布で500円5枚でしたか、配られたと思うんです。特に、残念なことですけど、オートロックマンションとかのポストだったら、ほとんどごみ箱が横にあって、不要なチラシとか捨てられるようになってるんです。このグルメクーポンも、よく見ずに捨てられているところも見受けられました。

そういう意味では事前周知をやっぴりしておかないと、あまりにもチラシが今多いですから、配布する曜日とか検討していただいて、歩留りになることがないように努めていただきたいことを要望して終わります。

3点目のスクラッチカードの件ですけれども、店舗からの要望をしっかり聞いていただいていると感じております。配布時期と使用時期をコントロールするいい取り組みと思いました。

あと、毎回要望しているんですけど、どうしても地域によって、利用店舗が多い地域と少ないところと物理的な事情でできているんです。

過去には何か番号を入れて、くじを作ったとか、第二弾、第三弾のことも提案した

んですけれども、店舗の少ないところへの対策を何か考えている点があれば、教えていただきたいと思います。

次に、4点目です。

商品券の件ですけれども、過去最高の予算で取り組むということで、一番心配しているのは、この予算が目指す活性化とか物価高騰対策に、完全に生かし切れるかが、担当課としてのやっぱり大きなテーマだと思います。

平たく言ったら、せっかく予算を組んで、それがフルに発揮できなかつたら、やっぱり掲げた命題が達成できないと心配をしております。

そういう意味で先ほど来、質問のあったポイントとしては、一つは予約方法をどうしていくか。それから、お金を払う決済方法、3点目には、実際の券をどうやって利用者にお渡しできるか、この三つがやっぱり大きな課題になると思うんです。

今、コロナワクチンの関係で摂津市民の方も、多くの方がLINEのお友達になってくださっております。そういう意味で、こういう券を例えばLINEギフトとか、そういうので販売できるかどうか、法律的に規制もあると思うんですけれども、要は、ネットを使って予約や購入ができる人は、それでお願いして、ネットを使えない人はどうするのかとか、それから、買いに行ける人、買いに行けない人、いてると思うんです。そういったいろんな立場の方をどうしていくのか、しっかり考えていってほしいと思います。

先ほどもお話がありましたけれども、お風呂での利用がありましたけど、平たく言ったらレジャーの部分です。サイト上でも、レジャーの前売り券とか販売しているところもありますので、もし拡大できるので

あれば、そういうのも視野に考えていただきたいと思います。

あと、今回最大の予算ということで、部長にお伺いしたいです。部長は長年、産業振興課のスペシャリストとして頑張ってきたと感じております。今回、今考えている券の販売以外に、例えば非課税の方だったりとか、子育て世帯の方に、最初からお渡しできるハイブリッドの体制はできないのかどうか。予算の条件とかあると思うんですけど、お答えいただけたらと思います。

5点目ですけれども、困窮者の自立支援については対象とか取り組み、よく分かりました。最終的には社会福祉協議会が窓口になるかも分かりませんし、そちらが利用できない人は、市で受けることになるかも分かりませんが、結構、書類とかが煩雑で、私もお手伝いさせてもらったことあるんですけども、申請に対する支援について、社会福祉協議会とよく相談していただいて、申請したい人がなかなかできないことがないように工夫をして取り組んでいただくことを要望します。

以上です。

○香川良平委員長 答弁を求めます。

鈴木課長。

○鈴木産業振興課長 それでは、スクラッチカードの事業に係ります、地域差の対策についてのお答えをさせていただきます。

直接の対策になるかどうかは少し分かりかねますけれども、今回、スクラッチ事業について、より若者の参加をいただきたいと考えまして、摂南大学の学生から、スクラッチ事業に参加いただくためには、どのように工夫したらいいかの提案を頂く予定となっております。

今回、7月をめどに大学から、スクラッ

チ事業の工夫についてと併せまして冊子の作成についてご提案いただく予定となっております。

以上でございます。

○香川良平委員長 吉田部長。

○吉田生活環境部長 それでは、商品券事業についてお答えさせていただきます。

今回、商品券事業の特徴なんですけれども、プレミアム率が150%で、いろいろと販売どうなんやとご意見はあります。買いやすい仕組みにということで、非課税の方や、子育て世帯の方に関しては一般的に、今まで商品券の額面でしたら、ほとんど1万円が上限でした。今回は2万円で、消費が比較的多い子育て世帯でも活用することができ、非常に非課税世帯の方や子育て世帯の方に関しても、一定配慮させていただいた商品券事業ではないかと思っております。

特に議員の皆さんが言っていたように、全ての世帯を対象に、できるだけ今回公平にさせていただけたらということで、非常に販売冊数が多いので、どううまく届けていくかは、もちろんいろんな事業所のご意見も聞きながら、市としても今までのノウハウを生かして、スムーズな販売を務めていきたいと考えております。

以上でございます。

○香川良平委員長 水谷副委員長。

○水谷毅委員 スクラッチの件ですけれども、大学生のいろんな発想とか知恵を利用されるいい取り組みだと感じました。

あと、ポストに入ったときに、ぱっと見ての印象が、あれやなと分かるように、実際配るものとか、事前の周知も、しっかり取り組んでいただきたいことを要望します。

あと、商品券を部長からご答弁いただきました。今回、利用しやすいように取り組むということで、それはそれでお願いしたいと思います。

過去最大の予算ということは、楽しみにしている人ももちろんいらっしゃるわけですし、そういう方が殺到してきます。ワクチン接種のときにもあった経験等を生かして、あと年齢的な分散とか、どういう方法が一番いいのか、整理券発行とか、よく考えていただいて、事故のないように取り組んでいただきたいと思います。

あと、プロポーザルを通じての販売方法であります。プロポーザルで提案してくる内容について、G o T oであったように、コンビニで買えるのは非常に利用しやすかったと考えています。

そういう意味で例えば今、市税等も納付書にP a y P a y払いとかあります。そういうので決済していただいたら引き換えられるよとか、そういう新しいチャンネルも工夫していただいて、全ての予算が当初の目標に生かせるように取り組んでいただきたいと思います。

以上です。

○香川良平委員長 ほかにございますか。

南野委員。

○南野直司委員 それでは、お願いというか、意見だけ述べさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策に関する国からの交付金を利用して、一つは、市内の消費喚起、あるいは物価高騰対策としてグルメクーポン、それからスクラッチ、そして、8億6,000万円を使っての商品券で摂津市は、やっていくと決められました。

評価をするところなんですけれども、先ほどからご説明あったように、全世帯、全

市民の方、あるいは市内の事業所に、国からの予算を全てに反映するとなりますと、例えば水道料金の減免は全ての世帯、そして事業所にも反映するので、ちょっとは、期待していたんです。摂津市は商品券であったり、スクラッチであったり、グルメクーポンということなので、よろしくお願ひしたいと思います。

例えば、障害をお持ちの方であったり、介護認定をお持ちの方であったり、なかなか外へ買物に行けない方もいらっしゃいます。そういう方はどうしていくんだということを、知恵を出し合って、ご検討いただきたいと思います。

地域福祉活動支援センターの中にはボランティアセンターもあって、地域包括支援センターもあって、社会福祉協議会も入っておられて連携を事業者と行政で取っていく。あとは介護サービスに、そういった商品券を使えるとか、日常生活をちょっと振り返っていただいて、どういうことにやっぱりお金を使っておられるか。それに、その商品券を使えるということで、お弁当を取っておられる「ふれ愛配食」です。そういった事業所にもクーポン券を使えるとか、あらゆる角度からご検討いただいて、一人も取り残さない、そういう予算を皆さんで分かち合える、使えることを望んでおりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

スクラッチとグルメクーポンは地域差がどうしても、やっぱり気になるんです。お家の周りに飲食店もないから使ったことない人がやっぱりいらっしゃいます。課題として参加店舗をどうかふやして、皆さんが喜んで使えるように、スクラッチも含めてお願ひしたいと思います。

以上です。

○香川良平委員長 ほかにございますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○香川良平委員長 以上で、質疑を終わります。

暫時休憩します。

（午前11時40分 休憩）

（午前11時41分 再開）

○香川良平委員長 再開します。

議案第35号の審査を行います。

本件については補足説明を省略し、質疑に入ります。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○香川良平委員長 質疑なしと認め、質疑を終わります。

（午前11時42分 休憩）

（午前11時44分 再開）

○香川良平委員長 それでは、再開します。
討論に入ります。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○香川良平委員長 討論なしと認め、採決します。

議案第30号所管分について、可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手する者あり）

○香川良平委員長 全員賛成、よって、本件は可決すべきものと決定しました。

議案第35号について、可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手する者あり）

○香川良平委員長 全員賛成、よって、本件は可決すべきものと決定しました。

暫時休憩します。

（午前11時45分 休憩）

（午前11時46分 再開）

○香川良平委員長 再開します。

今期の行政視察について、協議をさせていただきたいと思っております。

3月の本委員会での協議では、4月、5

月の感染状況の推移を考慮した上で、6月に今期の行政視察を実施するか、見送るかの判断をするとさせていただいております。

また、行政視察を実施する場合でも近隣市で、日帰りで行うこととさせていただいております。つきましては、委員の皆様からのご意見を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

近隣で行けても、日帰りという流れになっています。

今回、こういう状況ですので、見送ってもいいんじゃないのかとか、行けるんやったら近隣市で、例えば、ここに行きたいとかそういう意見があれば、考えさせていただきますので、忌憚のないご意見、伺いたいと思っております。

光好委員、いかがでしょうか。

○光好博幸委員 せっかくなので、近隣で、日帰りだと考えておったんですけども、ここ行きたいというところもちょっと見当たらず、正直、無理くりといたら変ですけども、何か目的を持ってね、やっぱりしっかりと行くべきだと思います。私個人的には、現時点では特段、今この時期において、ここを見たいというところはちょっと見当たりませんでしたので、個人的には、見送ってもいいのではないかと考えております。

以上です。

○香川良平委員長 全員に聞く予定はないですが、こういうのがあればというので、南野委員。

○南野直司委員 さっき増永委員の質問の中で言うてはりました、お風呂、大事やと思います。全然、ほんまに安い銭湯がないので。市営で、近くで、何か誘致したり、事業者を、何かお風呂、力を入れて取り組

んでおられる自治体ってないのか。

地域福祉の向上とか、地域コミュニティの活性化とか、何かそういう観点で。まるっぽ市がやってるんじゃないで、例えば補助金を出したりして、地域の方のコミュニケーションや健康増進につながるじゃないですか。健康施策、すごい声があるんです。空き家を利用して、銭湯を運営されるような取り組みですね。将来は中学校区の一つとか、例えばちっちゃい子どもから、おじいちゃん、おばあちゃんまで銭湯に来れるような取り組みをされている自治体があれば視察してみたいです。

○香川良平委員長 何か目星があるんですか、例えば福井とか。

南野委員。

○南野直司委員 いやいや、まだ何も調べていないです。ただ、市民の方からの声は多いんです。

○香川良平委員長 ありがとうございます。

今、南野委員からお風呂関係で提案がありました。

南野委員。

○南野直司委員 スーパー銭湯よりも銭湯、地域の銭湯です。市営じゃなくて。市営やったら厳しいと思うので。だから、そういう補助金を出して、例えば、市で運営してもらいたいような取り組みです。

○香川良平委員長 貴重なご意見ですので、また、ほかに何かあれば。

森西委員。

○森西正委員 茨木市のごみの焼却場について、タイミングはあると思うんですけども、あらかたできた中で、恐らく今年度の間では、いつかの段階になるのかと思うんです。例えば橋ができた後になるのか、その前の段階で、ここはこうですよとか、

やはり民生常任委員会としては、視察は必要と思います。

○香川良平委員長 ありがとうございます。橋が年度末にできる予定なので、これも行く価値はあると思います。

今、一応、ごみと銭湯の提案がありました。

増永委員、何かありますか、この視察に当たって。

○増永和起委員 時期として、いつ頃を考えたらいいんでしょうか。

○香川良平委員長 7月上旬から8月上旬です。

増永委員。

○増永和起委員 かなりタイトな時間ですね。

○香川良平委員長 そうですね。

増永委員。

○増永和起委員 今すぐここへ、これを見に行きたいというのが私の中で、ちゃんと調べられていなかったの、ないんですけども、そのタイトな時間で場所が見つかって、相手の了承をもらって、行けるのかがちょっと心配なところなんです。

それを考えると、視察の機会を議会として持つことというのは、すごく積極的でいいことやと思うので、今ご提案いただいたこと、できるのかを検討してもらったらいいと思うんです。何が何でも今回、行かないといけないと私は思っていないので、無理のない範囲で考えていただけたらいいと。お風呂、すごくいいなと私も思いますし、森西委員のご提案も、そうやなと私も思うので。

ただ、それをこの短い時間でやらなあかんというのは、ちょっと状況は、よく見ていただきたいと思います。

以上です。

○香川良平委員長 分かりました。ありがとうございます。

水谷副委員長。

○水谷毅委員 相手もあることやからね。

○香川良平委員長 分かりました。

暫時休憩します。

(午前11時55分 休憩)

(午前11時59分 再開)

○香川良平委員長 それでは、再開をいたします。

ただいま協議した結果、お風呂、つまり銭湯について、摂津市内に1か所しかないということで、銭湯に人が集うとの観点から、そういったお風呂で成功している市、市営の銭湯が一番いいんですけど、あるいは、市が銭湯に補助金を出しているような事例がないのかを委員長団で一度、行ける候補地があるかどうか調べてみます。

その結果、ないようであれば、今回の視察は中止とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○香川良平委員長 それでは、そのように決定しますので、どうぞよろしく願いをいたします。

以上で、本委員会を閉会します。

(午後0時 閉会)

委員会条例第29条第1項の規定により、署名する。

民生常任委員長 香川 良平

民生常任委員 増永 和起